

2026 北方領土返還要求 北海道・東北国民大会

択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の北方四島は、日本人によって開拓され、日本人が住み続けた島々です。これら北方四島は、1945年(昭和20年)8月の第二次世界大戦終了直後、ソ連軍により不法に占拠され、日本人が住めない島々になってしまいました。

先の大戦後、81年が経過した今もなおロシアの不法占拠の下に置かれている、我が国固有の領土である北方四島の返還を一日でも早く実現するため、国民が一丸となって一層強力な返還要求運動が展開されるよう、北海道・東北国民大会を開催します。

色丹島 色丹神社鯨骨鳥居 「千島歯舞諸島居住者連盟」提供

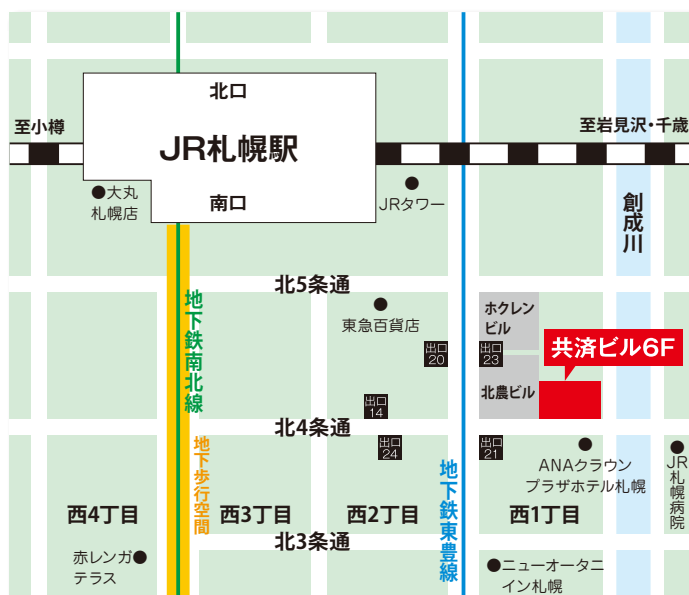
あなたもぜひ大会にご参加を!!

と き： 令和8年 8月21日(金) 13:00~15:00

ところ： 共済ホール (札幌市中央区北4条西1丁目1 共済ビル6F)



北方領土返還要求
運動のシンボルの
花(千島桜)



公共交通機関でのご来場をお願いします



大会 内容

《第1部》

北海道・東北国民大会

《第2部》

「カラーでよみがえる戦前の
北方四島の暮らし」映像上映

主 催／北方領土返還要求北海道・東北国民大会実行委員会

お問い合わせ先／公益社団法人 北方領土復帰期成同盟

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3番地 敷島プラザビル3階 TEL011-205-6500

歴史が語る真実 —領土の画定—

江戸時代



江戸幕府撰
正保日本図
(1644年)

1604年(慶長9年)、江戸幕府は松前藩に蝦夷地での交易権を認めました。松前藩は、北方領土や千島列島に住むアイヌの人々とも交流を始めました。

1 日魯通好条約(1855年)



日露の国境は、択捉島とウルップ島の間に決められ、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島は日本の領土として画定されました。また、樺太は両国民の混住の地となりました。

2 樺太千島交換条約(1875年)



千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄しました。ウルップ島より以北を日本が譲り受けることを定めています。

3 ポーツマス条約(1905年)



1904年(明治37年)の日露戦争の後、この条約で樺太の北緯50度以南が日本の領土となりました。

北方領土関連年表 —江戸時代からソ連の占拠まで—

1635年	松前藩、北海道全島及び千島、樺太を含む蝦夷地方の調査を行う。
1644年	江戸幕府、「江戸幕府撰正保日本図」を作成し、「クナシリ、エトホロ、ウルフ」などの島名を記載する。
1785年	最上徳内、幕府の命により国後島、択捉島へ向かい、調査する。
1798年	近藤重蔵、最上徳内、択捉島に渡り「大日本恵登呂府」の標柱を建てる。
1799年	高田屋嘉兵衛、国後・択捉島間に航路を開く。
1800年	近藤重蔵、高田屋嘉兵衛らを択捉島に派遣、漁場を開き、行政府をおく。
1808年	間宮林蔵、樺太を探検する。

1855年	日魯通好条約を結ぶ。
1875年	樺太千島交換条約を結ぶ。
1905年	ポーツマス条約を結ぶ。
1925年	日ソ基本条約に調印。(日ソ国交樹立)
1945年	日本がポツダム宣言を受諾、終戦。 その後ソ連が北方四島を不法占拠する。
1946年	ソ連が千島列島ならびに南樺太の領有を宣言する。 ソ連が千島列島・樺太・色丹島・歯舞諸島(現、歯舞群島)をソ連に編入することを宣言する。